

⑫線維壁・綿壁（触るとすぐに剥がれる場合）

柱や壁などに養生をし、壁面にリフレパウダー希釈水をたっぷりと噴霧して剥がれやすくした後、ヘラ等で表面を掻き落とします。掻き落とした後、砂やホコリなどは固く絞ったタオル等できれいに拭き取ってください。

下地の痛みがひどい場合や基礎が土壁の場合などは、下記の方法のほか、既存の壁に薄いベニヤ板を張ってから塗布する方法もあります。
※ベニヤ板への塗布方法は P.16 参照。



リバースシーラーを1回塗布しよく乾燥させます。



リバースシーラー乾燥後、プラゾール SS（または同等品）をローラーで塗布します。この作業により接着力を確保し、アクの流出を防止します。



プラゾール乾燥後、水性シールパテ（シーラー・パテ両方の効果）で段差や凹凸のある部分にパテ処理をして壁面を平らにします。

※ヤヨイ水性シールパテ、または同等のパテをご使用ください。



パテ乾燥後、紙ヤスリをあてて平滑な面を作ります。作業後、まだ段差がある場合は平滑な面ができるまでパテ塗り→ヤスリがけを繰り返してください。



平滑な面ができたらパテの粉を取り除きます。濡らして固く絞ったタオル等でよく拭き取ってください。パテの粉が残っていると接着不良を招くおそれがあります。



リバースシーラーを塗布し、よく乾燥させます。



ローラーまたは刷毛でリバースコート塗布します。リバースコート仕上げ（P.10参照）にする場合は、下地が見えなくなるまで複数回塗布してください。

⑬ペンキ壁・塗装壁



施工面がヤニやホコリ等で汚れている場合は水で濡らして固く絞ったタオル等で拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合はリフレパウダー希釈水で拭き取ってください。



剥がれそうな部分は、40～60番程度の紙ヤスリであらかじめ落としておきます。この作業を行うことでリバースコートの食いつきが良くなります。



水性シールパテ（シーラー・パテ両方の効果）で段差や凹凸のある部分にパテ処理をして壁面を平らにします。
※ヤヨイ水性シールパテ、または同等のパテをご使用ください。



パテ乾燥後、紙ヤスリをあてて平滑な面を作ります。作業後、まだ段差がある場合は平滑な面ができるまでパテ塗り→ヤスリがけを繰り返してください。



平滑な面ができたらパテの粉を取り除きます。濡らして固く絞ったタオル等でよく拭き取ってください。パテの粉が残っていると接着不良を招くおそれがあります。



ローラーまたは刷毛でリバースコート塗布します。リバースコート仕上げ（P.10参照）にする場合は、下地が見えなくなるまで複数回塗布してください。